

1-① 社会的・職業的自立に必要な能力を育成する

取組 2	より実践的な職業教育の推進
------	---------------

【担当所属：高校教育課 管理課】

1 現状

職業教育は、農業、工業、商業、福祉等の職業教育に関する専門学科を設置する高校及び職業に関する系列を設置する総合学科高校（以下「専門高校」という。）を中心に行われています。

専門高校は、本県の産業経済の発展を担う有為な人材を輩出しており、専門分野の基礎的・基本的な知識や技術・技能の習得を通して、将来のスペシャリストの育成や、地域産業界等と連携した実践的な職業教育の推進による将来の地域産業を担う人材の育成等、重要な役割を果たしています。

そのため、専門高校では、産業現場等におけるインターンシップ（就業体験）や社会人講師の活用等の取組を実施し、地域産業界のニーズに沿った教育の充実に努めるとともに、産業教育に必要な実習設備の整備充実等を図っています。

また、全日制公立専門高校を平成25年3月に卒業した生徒の進路状況は、就職46.4%、専門学校等への進学29.9%、大学・短大への進学22.2%であり、上級学校への進学者が就職者よりも多くなるなど、進路は多様化しています。

(1) 専門高校の状況（職業教育に関する系列を設置する総合学科高校を含む。）

① 農業高校

生命を愛し、育てるとともに、食料や地域環境を守るための学習を基本として、植物の栽培や動物の飼育、バイオテクノロジー、食品加工、自然環境の整備、地域の開発、生活環境や地域福祉等の学習ニーズに積極的に応えながら、農業の各分野における将来のスペシャリストを育てています。



トリミング実習に取り組む農業科生徒



建築材料に墨付けをする工業科生徒

② 工業高校

ものづくりや実験・実習等の実際的・体験的な学習を通して、基礎的・基本的な知識や技術・技能から先端技術まで幅広く習得し、工業の各分野において活躍できる人材の育成を目指しています。



コンピュータ実習を行う商業科生徒

③ 商業高校

卸・小売や金融、サービス、情報通信等の第3次産業や製造業の事務関係に従事する人材の育成を目指し、ビジネス活動の流通、事務、経営、情報等に関する知識や技術を身に付けています。



車椅子実習に取り組む福祉科生徒

④ 福祉科を設置する高校

福祉の知識と技術の基礎・基本の習得とともに、福祉施設や在宅福祉サービスを支える中核的な役割を担う介護福祉士等の資格取得を目指しています。

(2) 産業教育設備の状況

生徒が技術を習得するための産業教育設備について、時代の変化に応じたものにしていくため、計画的に修繕や更新を進めています。

2 課題

- (1) 地域や産業界等との連携を図り、産業現場等におけるインターンシップの機会を積極的に設け、一層推進するとともに、受け入れる企業や学校の実態を考慮した上で長期間の実習を進めること
- (2) 産業技術専門校や認定職業訓練校をはじめとする関係機関との連携を強化するとともに、専門的な技能を有する社会人講師等を活用し、職業教育を充実させること
- (3) 産業教育設備を時代に応じたものに更新すること

3 取組の方向

- (1) 産業構造の変化、技術の進歩等に柔軟に対応できる人材の育成のため、地域や産業界等との連携を強化し、専門分野に関する基礎的・基本的な知識、技術等の定着を図るとともに、職業選択能力や職業意識を育成します。
- (2) 雇用のミスマッチの防止のため、産業現場等における長期間の実習を取り入れるなどのインターンシップの機会を積極的に設け、実践的な職業教育を一層推進します。
- (3) 第一線で活躍する産業界の技術者等を学校に招き、専門分野の最新の知識や技術、優れた技術・技能を習得させるとともに、望ましい勤労観・職業観を育成します。
- (4) 上級学校への進学を希望する専門高校の生徒が多くなり、進路選択の多様化が進んでいることから、こうした状況も考慮して高大連携を推進します。
- (5) 産業教育設備の計画的な更新及び修繕を行います。

4 主な取組内容

- (1) 専門高校と地域や産業界等が連携して実施する「次代を担う職業人材育成」を一層推進します。
 - ① 人材育成委員会において、指定校の取組内容の成果と課題を明確にします。
 - ② 指定校における取組内容の成果を普及し、すべての専門高校において、技術者等による学校での技術指導や現場実習、職員研修等を一層充実します。
 - ③ 工業系高校において、熟練技能者による技術指導をより充実します。
 - ④ 企業・研究機関等から、豊かな経験と知識をもつ人材を講師として招へいします。
 - ⑤ 介護職員初任者研修の事業を実施する学校と介護福祉士国家試験受験可能校を対象に、医師、看護師等を社会人講師として積極的に招へいします。
- (2) 企業等との連携により、産業現場等での系統的なインターンシップを実施し、生徒の専門分野における実際的な知識・技術の体得を進めるとともに、望ましい勤労観・職業観を育成します。
- (3) 高校と大学の連携により生徒の専門分野への学習意欲を高め、個々の興味・関心をもつ学問分野への理解を一層深めるとともに、主体的な進路選択能力を育成します。
- (4) 基礎技術を学ぶ設備、先進技術を習得する設備及び農場等を維持する設備の更新及び修繕に努めます。

5 達成目標

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況(H30)
(1) 公立専門高校全日制における高校3年間でインターンシップに参加したことがある生徒の割合	69.5%(H24)	100%
(2) 全日制専門高校の新卒者の進路希望達成率(進路希望達成者/卒業者)	98.6%(H24)	100%

6 他の施策分野における関連した取組

- (1) 本県農業を支える意欲ある人材を育成するために、農業・農学系の新たな教育機関について、地域のニーズや全国的な動向の調査等を行い、県全体で検討します。(技術支援課・高校教育課)
- (2) 産業技術専門校と高校が連携して、職業生活に必要な技術・技能講習や職業人の基礎知識講習等、実践的な職業プログラムを産業技術専門校において高校の授業の一部として実施しています。(産業人材育成課)
 - ① 産業技術専門校におけるスキルアップセミナーの受講を通して、定時制や通信制で学ぶ生徒の勤労観・職業観を育成し、職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、ものづくり産業等への就業意欲を涵養しています。
 - ② 工業高校及び農業高校と産業技術専門校が連携し、技能検定取得に向けての指導やコンクリート製品・窯製品の取扱に関する指導を実施しています。



産業技術専門校における溶接実習